を行わないもの」に分けて、カリキュラムの検証を行っ

に白鷺小中学校で開催予定の「実践研究発表会」の ていると報告がありました。さらに、九月三十日(金) 組むもの」「一部見直して続けるもの」「次年度は取組 カリキュラムに基づいた実践をもとに、「継続して取り

回小中

貫教育推進



姫路市教育委員会 学校指導課 小中一貫教育·ICT 教育推進係

にとらわれず、行事 う姿勢や、教科の枠

事務局からテーマを三つ提示しました。一つは「飾磨

全体会後に行われたブロックごとの話し合いには、

西、鹿谷中ブロックの実践取組発表に対する感想」。

や児童生徒の活動

(079)221-2120

ことで中一ギャップの解消につなげている。」など、ご講 習会を実施することで同一歩調での指導に生かして ため、同じ講師を招聘してネットトラブルに関する講 発表後には、谷外小学校の岸野校長先生から、「飾磨 いる。」「鹿谷中ブロックは、一小一中の強みを生かし、 西中ブロックは、大規模校の三校の足並みをそろえる 小学校の取組を中学校でも発展させて継続して行う の赤来

ので、それぞれのブ いただいております る感想をたくさん ロック協議の中で、 った先生方から、ブ ロックにお伝えしま 発表をお聞きにな 発表ブロックに対す

を見直す機会にすると言われました。

また、星川幹事長からは、白鷺小中学校のブランド

まで十年以上、紙で配布し続けてきた「学びのススメ」 しいただきました。その中で、安室中ブロックでは、今 をもちましょう。」と、スクラップ&ビルドの考えをお話 取組を始めるなら、一つやってきたことをやめる勇気 ている安室小学校の角倉校長先生から、「一つ新しい 当者会を開催しました。代表校長を務めていただい

校ブロックをオンラインでつなぎ、本年度の第二回担

七月二十九日(金)に総合教育センターと各中学

担当者会を終えて

評いただきました。

自ブロックの発表を聞きました。

ブロック協議では、 どんな話合いが行われたの?

で協議されました。

コロナ禍だからこそ形を変えて小中一貫の取組を行 クの発表でしたが、コロナ禍だからやらないではなく、 した。児童生徒数も立地条件も大きく異なるブロッ **飾磨西中ブロック、鹿谷中ブロック**に行っていただきま 者会のメインイベントであります「実践取組発表」を 方にも広めていただけたらと思います。

担当校長先生と幹事長の挨拶の後、第二回の担当

いくことが大切である。」と完成したカリキュラムの見 の結果も反映させた新しいカリキュラムに再構成して までの取組を懐疑的に見て、全国学力・学習状況調査 いる。小・中学校がお互いの立場を理解した上で、これ 区の様子が大きく変化し、児童生徒数も減少が続いて

しの必要性についてお話いただきました。

取組を目にしていただき、各校へ持ち帰って他の先生 おります。少しでも多くの先生方に、白鷺小中学校の 究会は小中一貫教育推進担当者会の研修を兼ねて 見どころについても紹介していただきました。この研

> を丁寧に育てていく を通して一人一人 共通していました。 取組は両ブロックに しが可能なブロックの取組について」です。他のブロッ クでは、どのような話し合いが行われたのか、紹介し 残り二つは、「ブランドカリキュラムについて」と「見直 ますので、今後の取組の参考にしてください。

ブランドカリキュラムの現状は?

完成に向けてもうひと頑張り

17ブロック

·完成したカリキュラムに沿って実践を進めている

完成しているカリキュラムの見直しを進めている ・・12ブロック 6ブロック

めたり、見直しを進めたりしています。 約半数のブロックがカリキュラムに沿って実践を進

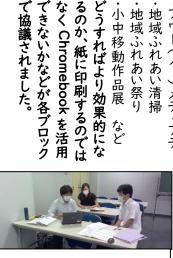
成に向けての取組をよろしくお願いします。 ムの提出期限となっています。未完成のブロックは完 令和五年二月二十四日(金)がブランドカリキュラ

見直しが可能なブロックの取組は?

·小中移動作品展 ・アウト (ノー) メディアデー 地域ふれあい清掃 地域ふれあい祭り 学習の手引き(学びのススメ)の配布 カレンダー、ポスター(広報誌)の作成 小中職員の交流(授業の相互参観・合同挨拶運動) 発表を振り返った後、見直せる取組はないか

前は、消費者教育を中心に据えていたが、コロナ禍で校 から、「本校は、ブランドカリキュラムを作成した三年

終わりの挨拶では、豊富小中学校の山下校長先生



活発に意見交流されていました。